

群馬県立西邑楽高等学校創立 46 周年記念式典

I 西邑楽高校の沿革

昭和 50 年 11 月 1 日	群馬県立西邑楽高等学校として設置。この日を創立記念日とする。
昭和 51 年 4 月 6 日	第 1 回入学式 8 学級
昭和 52 年 2 月 26 日	開校並びに校舎落成記念式典
昭和 53 年 7 月 22 日	合宿所「啓真館」竣工
昭和 60 年 11 月 23 日	創立十周年記念式典
平成 元年 4 月 7 日	第 14 回入学式 9 学級 (1 学級増)
平成 3 年 4 月 8 日	第 16 回入学式 8 学級 (1 学級減)
平成 5 年 4 月 7 日	第 18 回入学式 8 学級 (44 人学級)
平成 6 年 4 月 7 日	第 19 回入学式 8 学級 (42 人学級)
平成 7 年 4 月 7 日	第 20 回入学式 8 学級 (40 人学級)
平成 7 年 11 月 7 日	創立二十周年記念式典
平成 8 年 4 月 8 日	第 21 回入学式 7 学級 (1 学級減)
平成 11 年 4 月 7 日	第 24 回入学式 (普通科 5 学級・スポーツ科 1 学級・芸術科 1 学級)
平成 12 年 3 月 31 日	芸術棟竣工
平成 14 年 4 月 8 日	第 27 回入学式 6 学級 (普通科 1 学級減)
平成 17 年 11 月 2 日	創立三十周年記念式典
平成 18 年 4 月 7 日	第 31 回入学式 5 学級 (普通科 1 学級減)
平成 24 年 4 月 10 日	第 37 回入学式 6 学級 (普通科 1 学級増)
平成 27 年 4 月 8 日	第 40 回入学式 6 学級 (普通科男女一括募集)
平成 27 年 11 月 4 日	創立四十周年記念式典
令和 2 年 4 月 8 日	第 45 回入学式 5 学級 (普通科 1 学級減)

II 卒業生数

12,399 名 (男子 5,900 名、女子 6,499 名)

主な著名人 森 浩美 (第 1 期生) 作詞家・小説家
森田 幸雄 (第 1 期生) 東京家政大学教授
岩尾 憲 (第 29 期生) Jリーガー 徳島ヴォルティス在籍
小磯 竜也 (第 33 期生) アートディレクター

III 開校記念日について

本校は、昭和 50 年 11 月 1 日、県内第 58 番目の県立高校として誕生しました。よってこの 11 月 1 日が本校の創立記念日となっています。この時、初代校長の福田郁司氏、事務長として金子喜市氏、教諭として飯島正一氏の 3 名が職員として任命され、前橋女子高校の一角を借りて準備を始めたそうです。

IV 教育目標（校訓）について

校訓：明るく 強く 美しく

教育目標：知性を磨いて明敏にし、心身を鍛えて体と意志とを強靱にし、更に豊かな情操と
道徳性を身につけて正善な人格を培い、将来国家・社会に貢献する人材を育成する。

開校にあたり、先述の3名の教職員は、本校教育や学則について検討を重ね、憲法・教育基本法をベースに、地域の特性を考慮し、昭和51年1月14日に制定されたそうです。

V 校章について

本校の校章は、昭和51年4月の開校に先立ち、公募により決定することを決め、昭和50年11月29日の上毛新聞に公表された。その結果公募には25点の応募があり、“校章等制定委員会”による厳正な審査が行われた結果、中之条町の福田庚午氏の作品が選ばれたそうです。



〈校章の由来〉

真ん中の「高」の文字は高校を表し、学問を示す十本のペンを配している。その十本のペンは、「大泉町・邑楽町・千代田町」の3町と「生徒・保護者・教師」の3者、「明るく・強く・美しく」の3つの校訓に、この9つのものが一つになるようにともう1本ペンを加えたものです。

VI 校歌について

校歌も校章と同様“制定委員会”が公募した中から選ばれました。歌詞の部には14名の応募があり、4名の方が優秀作として選ばれました。さらにその中から最も優れた2編をもとに、制定委員会で補作し決定したそうです。作曲は本校教諭の福島賢一教諭に依頼して完成したそうです。

昨日は西邑楽高校の創立記念日でした。本来なら今日体育館に集まって記念式典と記念講演会を行うところですが、新型コロナウイルス感染予防のため、昨年に続き放送による式典になりました。形式はどうか、母校である西邑楽高校の創立をみんなで祝いましょう。